

2009年度 第3回 常任幹事会議事録

●日時

2009年11月28日(土)
15:00~17:00

●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校内

●出席者

秋元圭一〔会長〕
甲斐光省〔副会長〕
三好耕之〔常任〕
西田一成〔常任〕
渡部征明〔常任〕
大村政幸〔常任〕
浜村圭一〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
小山弘〔常任〕
大野美菜子〔常任代理〕
土橋洋一〔会員〕
永吉昭浩〔会員〕

●委任欠席(カッコ内→代理人)

日野 高(秋元)
白石龍子
勝山昌幸
富澤和治
大悟法淳一

常任出席者 10名

委任欠席者 5名

定足数成立

●議事進行

議長・進行:松岡和彦

●議事録

書記:永吉昭浩
校正・制作・文責:
秋元圭一・大村政幸

■議題

1. 卒展表彰について
2. その他・意見交換

議題1 卒展表彰について

渡部氏は「昨年度から、四谷で卒業制作展を開催。受賞対象者は例年通り視覚情報デザインが2名その他の科は1名ずつということで表彰した。昨年度の問題としてあがったのが投票用紙を必ず同窓生に渡すというのが徹底されていなかった。それと投票箱の位置がわかりづらくて投票者数があまり伸びなかった。ちなみに投票して下さった方全体のノミネート数が58名。総得票数で150票。平均3票ほど。昨年度の芳名帳は学校関係者、一般、企業という分類になっており、卒業生は『学校関係者』の方に記入してもらうことになっていた。学校関係者で記入してもらった中には、当然、教員や職員の数も含まれているが、人数的には346名だった。もっと得票数も伸びていはずだったが投票数が少なかった。また、同窓会賞は得票数が一番多い人にあげることになっていたが、ある科では3票の投票で決まってしまうというように、少ない差で決まってしまうということで、緊急避難的に投票された中から先生方に選んでもらい、その学生を受賞者とした。今年も基本的には表彰を行いたいと考えています。ただし、得票数が少ないのに、例えば1位で4~5票あって下に3票、2票、1票とかいう状態だと、また信憑性がないということになるので、今年はまず運営面として、必ず卒業生全員に投票用紙が渡るように受付としっかり連携をとりたい。そのために出来れば芳名帳も『同窓会』という芳名帳を作っていたら、受付にも全員に投票していただけるようにしていくというのが対策の一つ。前回、投票箱は1カ所しか設けていなかったで、2カ所もしくはわかりやすい表示にもっと大きいパネルの前に置くとか、もっと目立つようにしたい。結果で受賞対象者を決めるにあたって一つは足りる得票数というのをつけてもいいのではと思って、そこでどうしたらいいのかご意見を伺いたいのですが、前回300名程度来ていただきましたので、例えば30票とか15票とか20票とかいうところ以上を得票したら、同窓会賞として尊重してもらおう。もしそれ以下であれば、学校と相談して受賞者を決めるような、そういう足切りのラインを決めるのはどうか」と述べ、意見交換となった。

秋元氏「仮に一つの科に20票以上の人が3人いたとした場合は？」渡部氏「一番多い人。例えば20票以上の人が3人いたとしても得票数の少ないところでは選考が難しい」西田氏「あらかじめ来場者数がわからないので、得票数で線引きするのはいかなものか。会場の順路をちゃんとほしかつた」渡部氏「その辺の問題は、もうあがっている」西田氏「名前が小さかったので、作品に集中できなかった。科名と名前くらいは大きくしてほしかつた」秋元氏「会場全体の照明が暗かった」渡部氏「今回の会場では、あの照明が一番明るい状態だった」西田氏「時計回りに回るのであれば、作品の左にキャプションを貼ってほしい」秋元氏「科によって投票のばらつきがあるので、うまく投票してもらうようにアナウンスしてもらいたい」渡部氏「1階と2階で投票を分けるようにしたい」秋元氏「投票を考えるスペースがほしい」浜村氏「作品の下にシールを貼ってはどうか」松岡氏「生徒がいやがるのでやめた方がよい」土橋氏「投票と選考委員会の二本立てにして、受賞者を決めては。賞状などは贈っているのか。同窓会独自のデザインの賞状を作ってもいいのではないか」西田氏「賞金を贈るのではなく、名誉を贈るというのもありではないか」渡部氏「Webを使って、賞状のデザインを募集するのは？」秋元氏「今回は時間的に難しい」渡部氏「賞状のデザインの告知だけはしたい」西田氏「同窓会として、今回も表彰をするのか？」秋元氏「すでに予算の中に含まれている」松岡氏「今回の議題はシステムについてとなっている」西田氏「得票数は誰が調べたのか？」渡部氏「私が調べました」西田氏「土橋氏の提案は渡部氏一人で担当するのは難しいのでは？」渡部氏「得票数だけで自動的に決まるのであれば一人で問題ないが、選考委員会となると協力していただかないと難しい。研究科の修了展もあるので2回になるかもしれない」松岡氏「得票数だけだと単純明快で分かりやすいが、選考委員会だと受賞の説明をする必要がでてくるのでは？」渡部氏「得票数が増えれば、より分かりやすくなると思うので、投票数を増やすようにしたい」渡部氏「何かいい案があればメールを下さい」さらに秋元氏「学校の賞とは、分けてあげた方がいいと思う」渡部氏「得票数が多い人にあげ、学校とどぶつたら、次点の人にあげたい」などの意見が出て「今年度は得票数の多い人に賞をあげる」事とした。

議題2 その他・意見交換

○第5回アサビブリッジセミナーの報告。浜村氏「アサビフェスタと合同で行ない、同窓生5名、委員12名で、今回はかなり少なかった。日野氏の意見として「アサビフェスタ中のセミナーは無理があり、矢野氏には申し訳なかった」渡部氏「次回は？」浜村氏「12月19日。講師は林氏で、映画のVFXを担当している方」秋元氏「ネットでの受付方法が一部機能してなかったと聞いたが」浜村氏「今回アサビフェスタと合同で行ったので、フェスタに参加している人には、誰でもきてほしいという思いがあった」西田氏「ネットで予約する意味合いとしては、定員があるので、前もって人数を把握したかったという理由があった。次回はネットと当日受付という形を採りたい。今回ぎりぎりまで教室が決まらなかったり学校側と行き違いがあった」渡部氏「今まで収集したメールアドレスは整理されているのか」西田氏「去年の総会の時も、頂戴したメールアドレスに案内を送ることがあると伝えた」松岡氏「セミナープロジェクトでアドレスを管理しているのか」渡部氏「セミナーの案内に使った方がいい」秋元氏「メールアドレスの取り扱い方をルール化した方がいい」渡部氏「セミナー委員が、メーリングリストを管理した方がいい」松岡氏「ずっと参加していて飽きてきている感じがある。またWeb上のセミナーの画像が集合写真だけとはいかなものか。卒業生のセミナーを年に3回もやるのは難しく、勉強会というのをやってみるのもいいのでは。今回の矢野氏の場合、途中で休憩を入れるのは問題があった。中庭に面していると厳しい。521教室を使う方がいいと思う。寺子屋プロジェクトとかぶっているのでもっと問題がある。アサビブリッジならではの魅力がある」とい。浜村氏「前向きに検討したい」渡部氏「勉強会というのはとてもいい」松岡氏「著作権の話やネットなどの勉強会というのがいい」浜村氏「是非松岡氏にも、セミナー委員に参加してほしい」松岡氏「セミナー委員に質問しても今一つわかりづらい」秋元氏「中島氏が推薦してくれた件もあったが、様々な問題があったので実現できなかった。卒業生の場合、経歴などに時間をとられている」浜村氏「テーマを決めて、畑違いの人で座談会をするとか」松岡氏「一昔前だと、成功した人の話を聞くというのは意味があったが、今となってはあまり向いていないのでは」土橋氏「人前で話すのは苦手という人もいる。身近な問題を取り扱ってみるのもよいのでは？例えば、日本と海外では風土や会社経営の仕方に考え方の違いもあるので、税金問題や会社経営の話など」松岡氏「6年前に卒業した生徒が上海に会社を持つという話もある」渡部氏「同窓生向けのセミナーと、生徒向けのセミナーを分けてプログラムする」土橋氏「人間的な生き方などを教えることも重要。売だけの責任ではなく本質的なことを考えるのも重要」松岡氏「会社の仕事に疲弊してしまっている。異業種の人の話を聞くのはおもしろい」土橋氏「閉息した経済環境では息詰まっている」と色々な意見がでた。

○女性会員企画参画からの報告 甲斐氏「4月の顔合わせで女性会員の参加があり、会員の話をしてみた。2時間ほど話を持ったが、企画参画といきなりいわれでも戸惑うとのこと。同期の人と集まりを持ちたいが、連絡方法が難しいので、取り合える形を作りたい。名簿管理にまだ問題があるので難しい。同窓会会員を人材バンクとして使えるようにしてほしい。掲示板の有効活用。常任幹事会の時間帯と曜日の検討をしてほしい。分会をたくさんやって、そこでの意見を同窓会に吸い上げる。などの意見を頂いた」秋元氏「小さな集まりでも回数を増やしていくのは会員の底辺を広げるのに有効」甲斐氏「何カ所かに問題提起してみれば、より活性化が図れる」三好氏「同期に名簿開示の確認を試みたが、自分たちの学年とその前後の学年の名簿を公開してほしいという要望があった。同期の間で連絡を取りたいという話もあった」秋元氏「名簿を提供した後、個々の管理に関しては同窓会に関与しない。各年代の幹事が名簿の管理をしてくれるのが基本」三好氏「同窓会の名簿を、同学年に限って公開した方がいいのでは？」秋元氏「条件を整えば、名簿を公開したい」

○来年3月の選挙について秋元氏は「次回の常任幹事会で選挙方法等を示し、3月初旬に投票用紙発送、3月下旬投票締切という予定で行いたい。前回、住所不明幹事には投票出来ないようにしたが、被選挙権の問題、選挙方法など他にも意見があれば提案してほしい。幹事を辞任したいという人もいるが、代わりの人を推薦してくれることが少ない」と述べた。

○その他、松岡氏「Webのサーバーの要領が足りなくなってきたので増強した」小山氏「名簿管理で、同窓会ニュースの発送後の戻りで113名の住所がわからなくなった。このところ年100名ぐらいわからなくなっている」との報告があった。

次回日程:2010年1月30日(土)の15:00~17:00ということを確認して会議は閉会した。